



下諏訪 Vol.48 ぎわし

2025
5月臨時会
6月定例会

特集 2～3P

議会新体制！

～議員任期後半 2 年間スタート～

特集 15P

小学生

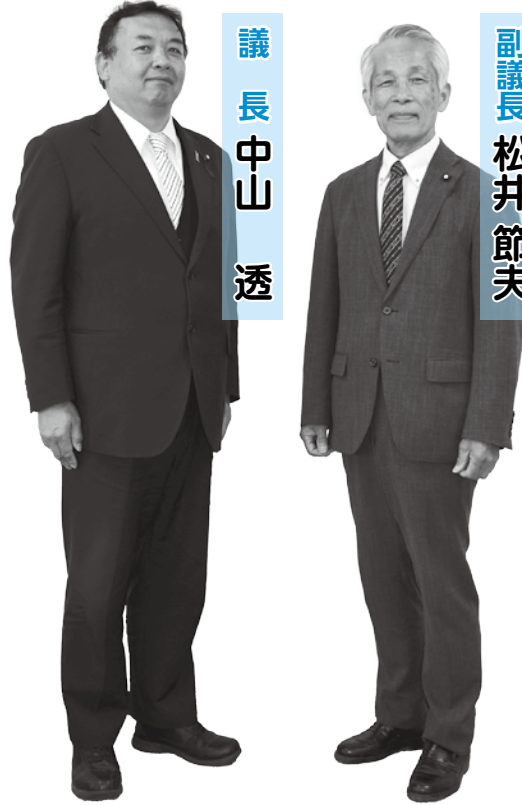
議会傍聴



議会新体制

副議長 松井 節夫

議長 中山 透



～議長あいさつ～

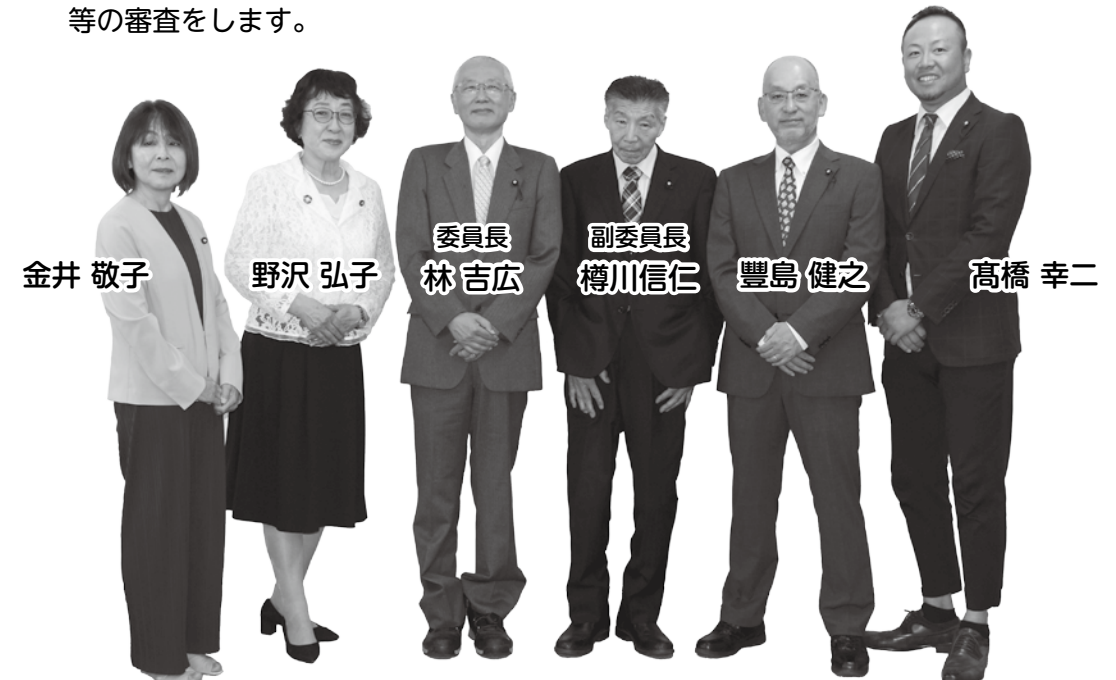
議会議長就任にあたり、ご挨拶申し上げます。

議員は町民の皆様から負託を得た代表として常に町民の側に立ち、町民生活の向上のために使命を果たさなければなりません。また、下諏訪町議会を開かれた議会とし、町民から信頼していただくために、皆様の声をよく聞き意見を真摯に受け止め町政に反映させてまいります。

町議会と町長との関係については、議会及び議員は二元代表制に係る町長その他の執行機関との立場の違い及び権能の違いを踏まえ、緊張関係を保持し、事務執行の監視及び評価に努めます。一定の緊張感を持ち、是々非々の立場で町民の負託に応え、よりよい町政を実現してまいります。

総務経済常任委員会

総務、企画、財政、防災、防犯、税務、会計、移住定住、農林業、商工業振興、観光振興、建設、都市計画、水道、下水道、消防等に関する事務事業関係議案等の審査をします。



金井 敬子 野沢 弘子 委員長 林 吉広 副委員長 樽川 信仁 豊島 健之 高橋 幸二

広報特別委員会

議会だよりの編集・発行及びその他議会広報に関する事項についての調査・研究をします。



【構成】委員数 6人
委員長 松井 節夫 / 副委員長 金井 敬子
林 吉広 / 竹元 完奈
高橋 幸二 / 花岡 進

バイパス対策特別委員会

下諏訪・岡谷バイパス、諏訪バイパス、バイパスのアクセス道路などに関する調査及び研究、関係議案等の審査をします。



【構成】委員数 7人
委員長 青木 利子 / 副委員長 竹元 完奈
中山 透 / 林 吉広 / 金井 敬子
豊島 健之 / 松井 節夫

議会運営委員会

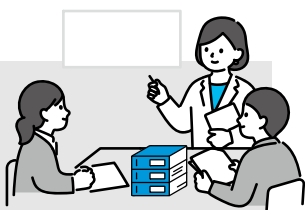
多数の議員で構成される議会を円滑に効率的に運営するため、常任委員会とは別に設置される委員会です。



【構成】委員数 5人
委員長 林 元夫
副委員長 竹元 完奈
林 吉広 / 高橋 幸二 / 花岡 進

一般会計予算決算審査特別委員会

一般会計当初予算、補正予算及び決算の円滑な審査をします。



【構成】委員数 12人
委員長 松井 節夫
副委員長 金井 敬子
議長を除く全議員が所属

生活文教常任委員会

戸籍、年金、国民健康保険、環境衛生、福祉、健康増進、保健予防、子育て支援、学校教育、生涯学習等に関する事務事業関係議案等の審査をします。



青木 利子 松井 節夫 委員長 花岡 進 副委員長 竹元 完奈 大橋 和子 林 元夫

私たち議員の任期は4年間です。今年は任期折り返しの年で、議会構成の改選時期にあたります。5月臨時会で、議長・副議長や各委員会メンバーが決まり、新体制で後半の2年間がスタートしました。

議員が
注目の
議案！

17 議案を審議
全議案を全会一致で可決



詳しくは議会 HP へ

下諏訪総合文化センター小ホール及びもみの木モール
改修工事の請負契約を締結

令和6年度は大ホールの天井耐震化工事が完了しましたが、令和7年度は小ホール及びもみの木モール等の改修工事が行われるため、建築主体工事約4億1700万円、機械設備工事約6000万円、電気設備工事約3億5500万円の請負契約を締結します。

小ホール天井の耐震化、座席の長寿命化（更新はしない）、トイレの洋式化、LED化、事務室等の冷暖房設備の更新、小ホールの照明や音響のデジタル化、外壁や屋根の補修等を行います。2階の各部屋のLED化工事はそれぞれ数日間、順次行います。

工事は安全管理に十分配慮して行われ、工期は7月1日から令和8年3月31日までとなります。



座席は部品交換等で長寿命化

小中学校の一人一台端末の更新

令和2年度に購入した一人1台端末が5年を経過し、今後、動作等に不具合が生じたり使用頻度が上がってくることから端末の更新を行います。

小中学校合計で1183台、総額は約6400万円となります。令和2年度は単独入札でしたが、今回は長野県による共同調達により前回より安価で購入できます。ドリル等は今後もAーと紙を併用していきます。

小型動力ポンプ積載車及び
小型動力ポンプの購入契約

今回の契約は、5社による指名競争入札の結果、株式会社チヨダと結ぶもの。契約金額は2101万円、納期は令和8年3月31日までの予定です。

昨年の第6分団への配備より金額が上がった主な理由は、物価高によるシャーシの値上がりに加え、新たな装備を載せるためです。



現在配備中の第7分団ポンプ車

火災だけでなく各種災害の夜間活動も見据えて、従来の投光器より明るいLED照明「ナイトスキャンチーフ」を町では初めて搭載します。また、持たずに使える無反動ノズルも装備予定です。これにより、少人数でも効率よく安全に放水活動ができるようになります。

この新しい車両は第7分団だけでなく、町内全体の災害に対応できるよう、運用ルールの整備が進められる予定です。

町民の命と暮らしを守るため、地域に根ざした消防力の充実と強化が今後ますます求められています。

R7年度一般会計補正予算

交差点拡幅事業及び広場整備事業



拡幅される交差点

VC長野トライデントに
広告宣伝活動を委託

今年の4月からふるさと納税の活用希望項目にVC長野トライデント支援の項目が設定されました。

これに呼応して賜った2千万円を活用して、VC長野トライデントに広告宣伝活動の委託をします。

ユニフォームへの下諏訪町の掲載や、イベント時に選手と触れ合うことでファンを増やすことや、町内外からの来町者の増を期待。観光振興と共に、スポーツ振興にも役立てたいとのこと。



選手との交流も



自動ラップ式簡易トイレ

自動ラップ式簡易トイレ
4セットを購入

防災諸費の防災用備品購入では、衛生面を考慮して自動ラップ式簡易トイレ・補助手すり・間仕切りテントを4セット購入します。

町の防災倉庫で保管しますが、国庫補助を受けての購入の為、使用頻度の報告等が必要になるので、町民へのPRを行いながら、各地区の訓練や、町主催の訓練で活用していきます。



6月定例会 議案等賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ表示しています。

陳情、意見書の審査内容は
次ページで紹介しています

議員名（議席順）	中山透	林吉広	野沢弘子	竹元完奈	高橋幸二	林元夫	樽川信仁	大橋和子	花岡進	金井敬子	青木利子	豊島健之	松井節夫
議案名等	議決等結果												
義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情、意見書	陳情：採択 意見書：可決	○	×	×	○	×	○	×	○	○	○	×	○
さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保を求める陳情、意見書	陳情：採択 意見書：可決	○	×	×	○	×	○	×	○	○	○	×	○
「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める陳情、意見書	陳情：不採択 意見書：否決	○	×	×	○	×	×	×	○	○	○	×	○
地域医療を守る医療機関の事業と経営維持のため、診療報酬の期中改定を求める陳情、意見書	陳情：採択 意見書：可決	○	×	×	○	×	○	×	○	○	○	×	○
OTC類似薬の保険適用除外の議論を慎重に進めることを求める意見書	可決	○	×	×	○	×	○	×	○	○	○	×	○
米価の抑制及び米の安定供給を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
日本学術会議を法人化する法律の撤回を求める意見書	否決	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	×	○

賛成者は「○」、反対者は「×」とします。議長は採決に加わらないため、「斜線」としています。

陳情・意見書案の審査結果

<地域医療を守る医療機関の事業と経営維持のため、

診療報酬の期中改定を求める陳情、意見書>

社会医療法人 南信勤労者医療協会から提出された陳情は、昨年度の診療報酬改定が実質マイナスだったことから、全国で医療機関の経営困難な状況が深刻化している実情を訴えるものです。このままでは地域医療の存続が危ぶまれ、その解決のために、国に対し診療報酬の期中改定を求める内容です。

陳情採択を受けた意見書案が、生活文教常任委員会から提案されました。

賛成多数で可決

反対 期中改定は国の財政や保健医療制度の安定性を損なう。各種保険者の財政状況も含め、総合的に判断すべきもの。

賛成 「このままではある日突然、病院がなくなる」という言葉に象徴されるような医療現場からの声を深刻に受け止めるべき。



<OTC 類似薬の保険適用除外の議論を慎重に進めることを求める意見書>

賛成多数で可決

反対 すべてのOTC類似薬を保険から外そうとはしていない。軽度な身体の異常時に、身近で便利な安全性が確認された市販薬を購入し、セルフメディケーションを進めるもの。

賛成 アレルギー性鼻炎や皮膚炎、喘息などを持つ患者さんから、負担増への心配の声があがっている。命と健康に多大な影響を及ぼすことから除外はすべきでない。

国において、医療費削減に向け、風邪薬や胃腸薬、湿布薬など市販薬と効能の似たOTC類似薬の保険適用除外が議論されています。

しかし、自己判断で市販薬を使用することによる危険の大きさや、処方薬より高い市販薬の購入のための負担増などに対して、不安や疑問の声があがっています。

慎重な議論を求める意見書案が、生活文教常任委員会から提案されました。

<米価の抑制及び米の安定供給を求める意見書>

賛成多数で可決

米の価格が上昇し、家計を圧迫しています。政府に対し、生産者、消費者双方にとって納得のできる米の価格の抑制に努めるとともに、今後の米の生産・販売の推進に向けて、各産地が全国の需要に応じた生産量を確保できるように、密な意見交換やきめ細やかな情報提供を行うことを求める内容です。野沢弘子議員から提案されました。



<日本学術会議を法人化する法律の撤回を求める意見書>

賛成少数で否決

日本学術会議を特殊法人化する法律が国会で可決、成立しました。しかし、「特殊法人化」による新組織は首相の監督の下に置かれ、独立性が損なわれ、政府の意向に沿って活動する組織になりかねず、これまでの「科学者の代表機関」の役割は失われてしまいます。

政府に対し、この法律の撤回を求める内容で、竹元完奈議員から提案されました。

反対 既に成立した法案の撤回を求めることができるのか。意見書の内容は既に国会審議前に提出されており説得力が無い。下諏訪町議会が意見書を出す意義を感じない。

賛成 日本学術会議は、かつての戦争の反省から「平和のために科学を生かす」として設立されたのに、「平和」の文字は消されてしまった。科学者に戦争への協力を強いるものだ。

陳情・意見書案の審査結果

陳情ってなに？

国や地方公共団体などの公共機関に対して、その実情を訴え、一定の措置を行うよう、または行わないよう要望する行為のことです。



意見書ってなに？

議会がその意思を意見としてまとめ、国会や関係機関に提出するものです。請願や陳情の願意に沿ったものや、議員発案で提案されるものがあります。

<義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情、意見書>

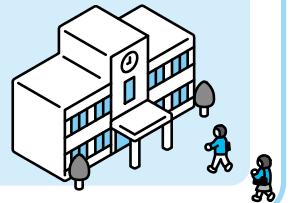
賛成多数で可決

長野県教職員組合諏訪支部から提出された陳情は、義務教育費国庫負担を維持するとともに、H18 年度に 1/2 から 1/3 に引き下げられた国負担の割合を元に戻すことを求める内容です。自治体間の差をなくし、子どもたちが、全国のどこに住んでいても、同じ水準の教育を受けられることを要望する内容です。

陳情採択を受けた意見書案が、生活文教常任委員会から提案されました。

反対 「学習指導要領」で教育の一定水準は確保しており、自治体格差はあって当然。

賛成 全国どこに住んでいても同じ水準の教育が提供される教育環境作りのための制度維持は必要不可欠。



<さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保を求める陳情、意見書>

賛成多数で可決

反対 少人数学級が教育の質や学力向上につながるとは、一概には言えない。今の制度の中で教育の質を高めることが必要。

賛成 少人数学級の効果は全国に先駆けて実施した長野県において実証済み。児童・生徒に十分に目の行き届く環境整備が必要。



長野県教職員組合諏訪支部から提出された陳情は、どの子にも行き届いた教育をするため、国の責任で①さらなる少人数学級の推進②複式学級の学級定員の引き下げ③教員基礎定数算出に用いる「係数」の改善の3点を検討し、必要な予算確保を求める内容です。

陳情採択を受けた意見書案が、生活文教常任委員会から提案されました。

<「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める陳情、意見書>

賛成少数で否決

長野県教職員組合諏訪支部から提出された陳情です。「カリキュラム・オーバーロード」とは、国の教育課程基準にもとづき、学校が定めた教育課程の時数と内容が過多になり、子どもや教職員の負担になっている状態を指します。子どもたちの豊かな学びを保障するため、この状態の早期改善および学習指導要領の内容の精選等を国に求める内容です。

委員会での陳情採択を受けた意見書案が、竹元完奈議員から提案されました。

反対 教員の多忙は授業時数によるものではなく、周辺業務によるもの。授業時数を減らすことで家庭の教育資源に乏しい子どもにとっての学びの場を削ることになってしまう。

賛成 「カリキュラム・オーバーロード」の状態は、正常な発達に影響し、考える力が身につかないなどの弊害がある。教員にとってはオーバーワークとなる。改善を図るべき。



一般質問12の視点

「歩いて・見て・聴いた」こと「議員自身の提言」も交えて、町に考えを質す！
6月定例会でも、あらゆる町の課題に、議員一人一人の目線で、執行部と
真剣な議論を展開。今後の町の動向にも注目！

- | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|------|------|------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|
| P14 | P14 | P13 | P13 | P12 | P12 | P11 | P11 | P10 | P10 | P9 | P9 |
| 商店増対策 | 災害トイレ | 若者支援 | SRHR | 公共施設 | 経済的支援 | ジェンダー | 災害対策 | 戦後80年 | 観光振興 | 洋式トイレ | 観光客誘致 |

皆さんは
どのテーマに
関心が
ありますか？

各議員のQRコードから一般質問の録画映像を見ることができます。
スマートフォン等からアクセスして、ぜひご覧ください。
全質問項目は、下諏訪町ホームページから見るすることができます。

下諏訪町議会
議会中継
チャンネル



質問順

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1 大橋 和子
心に訴える観光 | 4 花岡 進
核兵器禁止条約への見解は |
| 2 松井 節夫
中山道沿線にトイレ設置を | 5 豊島 健之
町北部の治山と河川管理は |
| 3 高橋 幸二
サイクルツーリズム促進は | 6 青木 利子
男女共同参画社会の実現 |
| 7 金井 敬子
町独自の物価高騰対策を | 10 林 吉広
若者への結婚支援の方針は |
| 8 林 元夫
老朽化する公共施設整備は | 11 野沢 弘子
避難所トイレの受入前準備 |
| 9 竹元 完奈
SRHRの啓発は | 12 樽川 信仁
商店を増やすための施策は |

観光客誘致

おおはし かずこ
大橋 和子

**心に訴える
観光**

答弁 御柱祭を控え、
活用を研究したい

問 鉄腕アトムや万治くんのキャラクター活用による観光客誘致の考えは。
産業振興課長 グッズや土産物品の販売は地域経済に貢献できる。御柱祭を控え、活用を研究したい。

エネルギーを大切に

問 プラ資源分別収集の状況は。
住民環境課長 4月に9トン、5月に8トンを回収。1か月の推計量13〜14トンより少ない。

問 分別収集の課題、方法の改善。
住民環境課長 当初は対象外の物が入っていたが、減少傾向。燃やすごみ減量の実感、収集日の増加を希望する声があるので、適切な時期にアンケートを取る。
問 ゼロカーボンの計画達成状況と課題は。



©Tezuka productions
鉄腕アトムや御柱祭マンホールの蓋

住民環境課長 2030年度までに住宅太陽光発電設備、蓄電池設備導入を400件補助する目標が、昨年度末で369件。二酸化炭素排出量60%削減の目標に対し、現在は25%程度。
問 諏訪市や岡谷市に並び、給水スタンドを設置する考えは。
住民環境課長 実証実験的に設置する方向で検討を進めている。

洋式トイレ

まつ い せつ お
松井 節夫

**中山道沿線に
トイレ設置を**

答弁 木落し坂の下、
星ヶ塔付近に検討

問 避難所のトイレを洋式に。
総務課長 公共施設は洋式化、一部和式も残している。
建設水道課長 18箇所の公園にあるトイレ22基を洋式化済み。

問 女子トイレを増やせないか。
総務課長 トイレ面積は課題。施設改修時に検討する。
問 災害時に備えて簡易トイレの斡旋をして欲しいが。
総務課長 防災訓練に簡易トイレの使い方も実施している。斡旋を検討する。

農業振興について

問 増加する遊休農地の活用策は。
産業振興課長 窓口相談や農地パトロールで、遊休農地の把握に努めている。土地所有者の4分の1が貸与を希望している。情報発信



災害用簡易トイレ 庁舎2階に展示

問 米づくりの奨励策は。
産業振興課長 米農家は少ないが、用水路の確保等支援している。
イタリア訪問について
問 町長のイタリア訪問の準備状況と、住民説明は。
町長 9月から10月予定で調整。経費削減に努め、報告会を予定。



観光振興

たかはし こうじ
高橋 幸二

サイクルツーリズム促進は
答弁 諏訪ライドパス事業に町も協力

問 観光によるまちづくりの具体的な事業は。

産業振興課長 住民・事業者とワークショップ、地域づくりセミナーを実施。小学生向けの「下諏訪新発見の旅」も行った。

問 定量的なデータを含めた観光マーケティングが必要。どのように評価するか。

産業振興課長 R6からリクルートと連携。「おでかけウォッチャー」「オンラインアンケート」による、データ収集を行っている。

問 下諏訪の魅力を活かした稼ぐ観光の実践は。

町長 下諏訪ならではの、満足する旅の提案をしていく。

町政課題研究会とは

問 事業立ち上げの経緯、メン



サステナブルな旅アワード大賞！

バー構成、地元の重鎮の参加は。町長 専門家や外部講師を入れて人材育成・プレイヤーの発掘を実践。メンバーは、役場職員・若手起業家・移住者・商工会議所など。重鎮の知見は大切だが、若手の人材育成・発掘がメイン。

問 事業の目指す「ゴール」は。

町長 行政と住民が協力しあってまちづくりが進むことが理想。



戦後80年

はなおか すしむ
花岡 すすむ

核兵器禁止条約への見解は
答弁 国に意見を述べる立場にない

問 戦後80年にあたっての町の取り組みは。

教育こども課長 広島平和教育体験研修で平和記念資料館を訪問。平和・戦争展は平和の絵本セットなど多彩な企画を予定。

問 被爆アオギリ二世の広報や、平和の灯の分火は。

町長 立札を見やすくする。分火は場所の確保や管理上困難。

自治体DXへの対応は

問 情報システムの標準化で町独自施策の後退や窓口対応の職員が減らされないか。

総務課長 町独自サービスは後退させず、職員減は想定していない。

問 日本ナレッジとのICTに関する包括連携協定の内容は。

町長 中学校の部活動地域移行に



下諏訪中学校の被爆アオギリ二世



災害対策

とよしま たけゆき
豊島 健之

町北部の治山と河川管理は
答弁 県管轄課と連携して対応する

問 町内北部山中に散見する斜面崩壊の実相をどう判断するか。

総務課長 七区山地福沢川流域は、地形的にも急峻かつ沢が多く、土壌の含水率が高い可能性がある。また深層崩壊の危険性が相対的に高いことや複数の活断層が存在する可能性がある等、地質的要因が重なっている点にも注目している。

問 このことから断層活動による地盤変動の他、気象変動による土砂災害の危険性等についても広報活動や防災啓発を継続していく。

建設水道課長 福沢川沿いの法面崩壊については、河川による浸食と考えられる。現場は県管理の河川となるので、県管轄課と現地確認を行う等連携を図りながら継続

問 福沢川の流れを阻害している崩落斜面の現状分析と対策は。



斜面崩落による福沢川の惨状

的に対策の要望を上げていく。

市街地にも潜む危険性

問 町総合ハザードマップの液化化マップが目立たないが。

総務課長 町民が液状化の状況を自分事と意識することは重要。ハザードマップ改訂時には町民が具体的なイメージを持てるよう工夫改善が図れたらと考えている。



ジェンダ

あおき としこ
青木 利子

男女共同参画社会の実現
答弁 女性の視点を取り入れたルールを

問 R7年度の男女共同参画週間の町が予定する取り組みは。

総務課長 町図書館で6月17日から29日まで啓発パネル展を行い関連圖書の紹介もする。

問 しもすわ男女共同参画推進委員会の活動と課題は。

総務課長 各区男女1名ずつの任命と関係団体の代表者からなる。「第7次下諏訪町男女共同参画計画」素案への意見聴取を予定。今は委員からの課題は出ていない。

問 災害時の男女の違いによって生じる課題は。

総務課長 過去の災害時には避難所のプライバシー、DVの問題をはじめ特に女性が困難に直面する事例が報告されている。平時から女性の視点を取り入れた備えや避難所の運営ルール作りが大切。



図書館での啓発パネル展示

プラスチック回収は

問 多様な世代に対応する、プラスチック資源物収集日の周知は。

住民環境課長 ガイドブックを作成し、カレンダーと共に全戸配布した。地区の収集日がわかるように表紙に記入欄も設けた。ごみ分別アプリは一度登録すれば非常に便利なので利用して欲しい。



かない けいこ
金井 敬子

経済的支援

町独自の物価高騰対策を

答弁 財政面で慎重にならざるを得ない

な検討が必要。

町でも「誰でも通園」

問 課題の多い「子ども誰でも通園制度」。国の方針に沿って、来年度から開始するのか。
答 教育ことも課長 保育士確保と、場所の調整が一番の課題だが、総合的に解決しながら万全な準備をしていく。



子育て環境整備に有効な実施を期待

問 小中学校保護者の皆さんから、「個人購入が必要なのか疑問を感じる」ものに、鍵盤ハーモニカ・彫刻刀・リコーダー・理科の実験セットなどがあげられている。使用期間の短いものは、学校備品にできないか。
答 教育長 衛生面や卒業後の使用も鑑み、個人所有と判断している。
問 「こういう品が必要では」も含め、保護者の意見を把握し、集団的な検討を進めてほしいが。
答 教育長 それぞれ考え方があって思うが、保護者の意向に沿うことは大事な視点。考えたい。
問 給付型奨学金の支給月額、物価上昇に合わせた増額を。
答 教育ことも課長 国の高校無償化などの動向もあるので、支給額が同額の貸与型奨学金も含め総合的



はやし もと
林 元夫

公共施設

老朽化する公共施設整備は

答弁 あり方も含め検討し計画的に

問 諏訪湖博物館の改修はどのように進めるか。
町長 開館から33年が経過しており、老朽化が進んでいるので、大規模改修を計画する。

問 老人福祉センター、ハイム太白や地域活動支援センターは、屋根・外壁などの改修が必要。3施設とも将来的な展望をもって考えなければいけないが。
町長 必要性が高い施設で、在り方も検討する中で、計画的に。

ふるさと納税推進を

問 ふるさと納税の推移は。
総務課長 昨年度は、2千万円を超える寄附があり、新たに導入した現地決済型ふるさと納税額は約293万円であった。
問 「企業版ふるさと納税」のトッ



ふるさと納税を報じる記事

SRHR



たけもと かな
竹元 完奈

SRHRの啓発は

答弁 健康支援として町全体で取り組む

※SRHRとは：性と生殖に関する健康と権利。
問 「第6次男女共同参画計画」の中にもSRHRの知識浸透を図るとあるが、具体的な取り組みは。
町長 男女共同参画週間のパネル展では、ジェンダー平等や避難所運営をテーマに展示。健康支援として町全体で取り組む。

総務課長 R3年度からご寄附された生理用品を、公共施設窓口で意思表示カードを提示された場合に配布。計16箇所にカードを設置。
問 公共施設への生理用品の設置やアクセスしやすい提供方法を検討いただきたいが、町長の考えは。
町長 先進事例も参考にしながら、公共施設における生理用品の設置、配布方法も研究していきたい。



SRHR（性と生殖に関する健康と権利）

若者支援



はやし よしひろ
林 吉広

若者への結婚支援の方針は

答弁 婚活イベントの開催や補助金など

問 出生数・婚姻数の激減に歯止めをかけるには若者への「結婚支援・結婚応援」対策が必須と考えるが町の考えは。
町長 少子化対策には若者に対する結婚支援が必要であることは十分に理解している。これまでにも町が行ってきた結婚支援策を今後も可能な限り継続していくことが重要と考える。加えて当町が行う取り組みだけでなく、今後の県や国が行う施策にも注視をしながら町の支援内容を充実させていきたい。

問 町の少子化問題はもはや危機的状況である。結婚支援を考える中でハラスメントを十分に考慮しなければならぬが、もっと踏み込んだ結婚支援対策が考えられないか。



安心して子どもが産める社会へ！！

町長 若者の結婚に対する価値観が多様化している。ハラスメントへの配慮は重要であり、これを踏まえながら町としては継続性をもった結婚支援策を講じたい。現在、結婚イベントの開催、結婚新生活支援事業補助金、結婚新生活支援住宅などを提供し、結婚を機に新しい生活をスタートされる若い世代への後押しを推進している。



のざわ ひろこ
野沢 弘子

災害トイレ

避難所トイレの受入前準備

答弁 災害時トイレは極めて重要な課題

問 大災害時のトイレの備えは万全か。避難所のトイレ環境は。

町長 災害時におけるトイレの衛生環境は、避難生活の質の向上や健康に直結する極めて重要な課題である。町ではマンホールトイレ、簡易トイレの整備に取り組んできた。避難所トイレの衛生管理、運用面の体制整備も研究を進める。

給水スタンドの設置を

問 CO2削減・ペットボトル削減に、給水スタンドの設置を。猛暑による熱中症対策として、マイボトル・水筒に水道管直結の水や、冷却した水の提供を。

住民環境課長 当町では諏訪市と岡谷市の取り組みを参考に、現在給水スタンドの設置場所を選定しており、決定次第ご報告をさせていただきます。



39年間使用している家庭用温泉タンク

家庭用温泉使用料値下げを

問 配湯事業の加入者減少対策に、毎月の使用料値下げは。建設水道課長 温泉施設の維持管理に必要な費用や、老朽化に伴う設備の更新費用など多額の費用が必要。R9年度に予定している、公営企業会計への移行後に、検討したい。

商店増対策



たるかわ のぶひと
樽川 信仁

商店を増やすための施策は

答弁 チャレンジ起業補助金等あり

問 商店を増やすための工夫と施策は。

産業振興課長 商工業振興助成金や固定資産税の減額、制度融資等の起業支援を実施している。

問 キッチンカーに対する支援はできないか。

産業振興課長 商工会議所は多角的な支援をしている。椅子、テーブルは相談で対応している。キッチンカーから店舗展開につながる事を期待する。

温泉施設の利用促進

問 温泉施設の利用状況は。建設水道課長 地元利用者は減少傾向、観光客は増加傾向となっているが、全体では減少している。利用者には気持ちよく利用してもらい、また来たいと思ってもらえ



賑わいある商店を目指します！

問 小中学生の無料入浴券の利用状況は。

建設水道課長 利用率は低いが、下諏訪温泉の良さを感じて欲しい。

町長 大浴場の建設、誘致はあるか。温泉はなくてはならない。規模にかかわらず、地域に愛される温泉を守り活用を根付かせたい。



未来を担う小学生たちのまちづくりを学ぶまなざし

子どもたちの傍聴体験

下諏訪北小学校 6年生の児童 18名が町議会 6月定例会本会議の議案質疑を傍聴しました。6年生の児童たちは現在、総合的な学習の時間で町の課題を調べています。社会科の授業で地方議会について学んでおり、そこで今回本会議の傍聴に来てくれました。

児童たちは初めて入る議場に少し緊張した様子でしたが、議員の発言に真剣に耳を傾けながら熱心にメモを取る姿も見られました。質疑では、児童たちも毎日学習に使用している「小中学校第2期一人一台タブレット購入」についての質問もあり、身近な審議内容に町議会の雰囲気を感じてくれたようです。

傍聴後の感想では、「町議会ではこんなふうに決められているんだ!」「質疑がひとつひとつとても早かった!」など、まっすぐな思いが次々と寄せられました。

議会進行を通じて、町政の役割や意思決定の流れを肌で感じ取ってくれたようでした。

児童たちが町政にふれるこのような機会は、政治を身近に感じるきっかけになるだけでなく自分たちの暮らしや地域への関心を深める第一歩となります。町の未来を担う若い世代のまなざしに、議会としても大きな励ましを受けました。今後もこうした機会を大切にしていきたいと考えています。



傍聴後の感想

スペースの関係で抜粋とさせていただきます。

北小学校のみなさん、貴重なご感想をありがとうございました!!

すべてのことはよく進んでいてとてもスムーズでした。私たちのために議会をやってくれているというしんげんさが伝わってきました。	しっかり話し合っていていいと思いました。みんなはっきり話を聞いてくれていいと思いました。	初めてほうちょう席で話を聞けるのは下諏訪のことについて話していると感じました。
1つの議題でもう少し長いかなと思っていただけですがスピーディに進んでいてびっくりしました。	ぼくたち下諏訪町のために話し合っていることがとてもよく分かりました。ありがとうございました!!	議会を傍聴して議員さんがとてもやさしくて、その熱い気持ちに感動しました。自分も頑張りたいです。
楽しくいろんなことについて話をしていたり議長が中心となっていて、カッコよかったです。	子育ての問題、子どもに関する事、小中学校1人1台タブレットなどについてなど色々な議題が話し合われていました。中には自分が興味をもったものもありました。	少し早く議会が終わってびっくりしました。今回は早く終わりましたがもう少し長く話し合ってもいいと思いました。

この町に住んで思うこと

「やさしさが根づく町で」

田嶋 ^{いちゆう}一遊さん・^{さあや}紗彩さん

～自然と人に囲まれて見つけた、わたしたちの場所～

下諏訪町を訪れたのは、2022年の夏でした。ミーミーセンタースメバで移住相談をした際、地域おこし協力隊の方が町を案内してくださり、人のあたたかさにふれたことが印象に残っています。町並みや大社、湖の景色にもひかれ、東京の実家へのアクセスの良さや物件との出会いもあり、2023年春に移住をしてきました。

冬は寒いですが夏は涼しく、自然が近くてリフレッシュできるのが魅力です。黒曜石や歴史的な建物が日常の中にあるのも嬉しいです。暮らしながら自然と歴史にふれられるのは、下諏訪ならではの魅力だと思います。ご近所の方に野菜の育て方を教えていただくなど、人とのつながりも感じています。

知り合いの方が議員をしていることもあり、少し議会を身近に感じています。SNSや議会だよりなどで、情報を発信してくださっているのもありがたいです。住民側も興味を持つことが大切だと思っています。今、町で何が話し合われているのか、自分たちも一緒に考えていきたいです。議会の取り組みをわかりやすく発信し続けていただけたら嬉しいです。

【インタビュアー 高橋】



理学療法士の資格を活かし、訪問リハビリの仕事をしてながら、「一遊工房」の革職人としてバッグや小物・リメイクなどの事業を自宅で行っています。

編集後記

新たなメンバーでこれから2年間「議会だより」を編集してまいります。

委員は初めての人、ベテラン色いろです。それぞれの持ち味、経験を活かしていけたらよいと思います。今までの議会だよりの良いところは残し、改革すべきは変えて町政、議会をより身近に思えるような「議会だより」を目指していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。(松井)

広報特別委員会

委員長 松井節夫	副委員長 金井敬子
委員 林 吉広	委員 竹元完奈
委員 高橋幸二	委員 花岡 進

議会SNS ぜひご覧ください

より身近な開かれた議会を目指しています。
議会の最新情報はSNSをご覧ください。



議会HP

